

県内中小企業(製造業)景況動向

令和2年7月～9月期

新型コロナウイルスの影響続く、先行きへの不安拭えず

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲65.1	▲71.5	▲54.2	▲49.0

同期比の売上高D Iは▲52.1、収益性D Iは▲56.3で、両方を合せたD I平均値は▲54.2となり「雨」模様が続いている。来期見通しは5.2ポイント上昇して▲49.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲20.8、収益性D Iは▲32.6となった。

また、雇用人員判断D Iは▲7.3、設備操業率D Iは▲7.5、設備投資実施率は36.2%となった。

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲34.6	▲87.5	▲75.0	▲69.0

同期比の売上高D Iは▲77.7、収益性D Iは▲72.2で、両方を合せたD I平均値は▲75.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは6.0ポイント上昇して▲69.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲52.8、収益性D Iは▲63.0となった。

また、雇用人員判断D Iは▲14.8、設備操業率D Iは▲48.2、設備投資実施率は17.1%となった。



概況

売上高と収益性を合せたD I平均値(同期比)については▲62.9となり、前回調査(2年4-6月期)の▲70.4から7.5ポイント上昇している。来期見通しにおいては6.1ポイント上昇して▲56.8となっている。

売上高D I(同期比)については▲61.5となり、前回調査から7.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては3.0ポイント上昇して▲58.5となっている。

収益性D I(同期比)については▲64.3となり、前回調査から7.9

ポイント上昇している。来期見通しにおいては9.3ポイント上昇して▲55.0となっている。

業況D I(同期比)については▲59.5となり、前回調査から8.5ポイント上昇している。来期見通しにおいては2.2ポイント上昇して▲57.3となっている。

原材料価格D I(前期比)については13.0となり、前回調査から3.2ポイント上昇している。

販売価格D I(前期比)については▲11.0となり、前回調査から1.3ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)については▲25.0となり、前回調査から26.6ポイント上昇している。

金融機関の態度D I(前期比)については1.1となり、前回調査から2.1ポイント下降している。

設備投資実施率については24.2%となり、前回調査から7.8ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは「食料品」(36.2%)、「窯業・土石」(36.2%)で、目的別では「維持・補修」(27.9%)となっている。また、来期の設備投資計画率については21.8%となった。

設備操業率D I(前期比)については▲23.4となり、前回調査から34.6ポイント上昇している。

なお、回収率は56.8%で、調査対象500社のうち284社、平均従業員数は53.7人であった。

紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲68.8	▲100.0	▲88.9	▲91.6
同期比の売上高D Iは▲94.4、収益性D Iは▲83.3で、両方を合せたD I平均値は▲88.9となり「雨」模様が続いている。来期見通しは2.7ポイント下降して▲91.6となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲61.1、収益性D Iは▲66.6となった。 また、雇用人員判断D Iは▲29.4、設備操業率D Iは▲61.1、設備投資実施率は5.6%となった。			

木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲22.2	▲56.6	▲46.3	▲50.0
同期比の売上高D Iは▲47.6、収益性D Iは▲45.0で、両方を合せたD I平均値は▲46.3となり「雨」模様が続いている。来期見通しは3.7ポイント下降して▲50.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」・「減少」が同割合で0.0、収益性D Iは▲19.1となった。 また、雇用人員判断D Iは19.1、設備操業率D Iは▲9.5、設備投資実施率は14.3%となった。			

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲47.1	▲78.4	▲75.0	▲53.4
同期比の売上高D Iは▲78.9、収益性D Iは▲71.0で、両方を合せたD I平均値は▲75.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは21.6ポイント上昇して▲53.4となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲21.1、収益性D Iは▲25.8となった。 また、雇用人員判断D Iは▲12.9、設備操業率D Iは▲19.3、設備投資実施率は34.2%となった。			

窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲4.0	▲24.5	▲22.7	▲35.1
同期比の売上高D Iは▲14.9、収益性D Iは▲30.5で、両方を合せたD I平均値は▲22.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは12.4ポイント下降して▲35.1となり「雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲31.9、収益性D Iは▲24.4となった。 また、雇用人員判断D Iは21.9、設備操業率D Iは▲14.3、設備投資実施率は36.2%となった。			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲25.0	▲88.3	▲75.0	▲62.5
同期比の売上高D Iは▲83.3、収益性D Iは▲66.7で、両方を合せたD I平均値は▲75.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは12.5ポイント上昇して▲62.5となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」・「減少」が同割合で0.0、収益性D Iは▲18.2となった。 また、雇用人員判断D Iは▲27.3、設備操業率D Iは「上昇」・「下降」が同割合で0.0、設備投資実施率は16.7%となった。			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲36.5	▲82.7	▲84.2	▲64.9
同期比の売上高D Iは▲74.6、収益性D Iは▲93.7で、両方を合せたD I平均値は▲84.2となり「雨」模様が続いている。来期見通しは19.3ポイント上昇して▲64.9となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲32.8、収益性D Iは▲38.2となった。 また、雇用人員判断D Iは▲14.6、設備操業率D Iは▲29.6、設備投資実施率は14.3%となった。			